

幾多の心理的要因から学習されてしまった潜在的な緊張を低下させ、病態そのものを表出化することによりセラピストとして難渋していた緊張による弊害が少なくなる。

- ◆インフェイズ介入前後の
麻痺側ストライド長に有意差あり
- ◆インフェイズ介入後に
麻痺側のストライド長が延長した